

第五十一回 帝國議會 貴族院 日本興業銀行外二銀行ノ對支借款關係債務ノ整理ニ關スル法律案特別委員會會議事速記録第一號

委員氏名

委員長 伯爵堀田 正恒君
副委員長 淺田 德則君

子爵渡邊 千冬君
子爵舟橋 清賢君
男爵千秋 季隆君

高田 早苗君
尾崎元次郎君
太田 清藏君
若尾謹之助君

大正十五年三月八日(月曜日)午前十時十九分開會

○委員長(伯爵堀田正恒君) ソレデハ是カラ開會イタシマス、最初ニ先ヅ本案ニ付テ政府當局ノ御説明ヲ煩シマス

○政府委員(武内作平君) 本案ハ寺内内閣當時ニ成立イタシマシタ所謂西原借款、詰リ對支借款ノ資源ヲ提供イタシマシタノガ興業銀行、臺灣銀行、朝鮮銀行デアリマスガ、其資源ヲ今回此公債ヲ發行ヲシテ公債ニ振替ヘル、斯ウ云フ案デアリマスノデアリマス、先ヅ此成立當時ノ狀況ノ大體ヲ申上ゲマス、其當時ニ成立イタシマシタ支那政府借款ハ御承知ノ通り一億七千二百八十八萬一千五百四十八圓ト云フヤウナ大キナ額ニ上リマシタガ、是ガ成立イタシマシタノハ、矢張り大正七年九月デアリマスガ、デ尤モ其中ニ交通銀行ノ借款、參戰交通銀行ノ借款、兵器代借款、此三ツノモノハ昨年ノ議會デ既ニ解決ニナッテ居リマスル臨時國庫證券特別會計ニ屬スル分デアリマシテ、此多額ノ借款ノ中デ、今回ノ分ニ屬シマスルノガ五ツ、即チ有線電信借款、吉會

鐵道借款、黑吉林鎮借款、滿蒙四鐵道借款、山東ニ鐵道借款、是ダケデアリマシテ、之ヲ合計イタシマス、チヨット是ガ一億圓ニナリマスノデアリマス、デ此一億圓ノ金ヲ作リマスノニ付キマシテ、日本興業銀行ト、臺灣銀行ト朝鮮銀行トガ共同ヲ致シマシテ、大體ノモノハ興業債券ヲ發行ヲシテ、サウシテ此金ヲ調達イタシマシタ、其金ハ三銀行カラ直接支那政府ニ渡シタモノデアリマス、又中華匯業銀行ヲ經テ支那政府ニ渡シテ居ルモノデアリマス、此金ガ今日ニナリマシタハ、其後此金ニ對シテ約束通り支那政府ハ現金ノ償還ヲ致シマセヌノミナラズ利息モ支拂ヲ致シマセヌ、尤モ僅カバカリ元金ノ中ニ又元金デ、銀行ニ預テアツテ渡シタナカッタ金ノ中デ勘定ヲシテ取タモノガ少々アリマスケレドモ、大多數ノモノハ元金ハ勿論利息モ返テ來ナイノデアリマス、ソレヲ今日ニ於テ勘定イタシマス、大正十四年十月末ノ先ヅ現在ヲ申上ゲマス、元金一億萬圓ニナリマシテ、サウシテ利拂借款、其後ノ利息ガ拂ヘマセヌカラ、又ソレヲ證文ノ形式ニ致シマシテ、一ツノ借款ニ致シマシタノガ三千三百六十萬八千二百七十圓ト云フコトニナリマス、デアリマスカラシテ、元ノ借款ト利拂借款ト兩方合シマス、ソレダケデ一億三千三百六十萬八千二百七十圓ト云フコトニナルデアリマスガ、其マダ借款ノ形ニナッテ居ナイ利息ノ受取ヲナラヌ分ガ、三百四十九萬三千五百八十一圓デアリマス、是ガ丁度此大正十四年十月末日ノ計算デアリマスカラ、其後矢張り是ノ

上ヘ利息ガ加ハッテ居ル形ニナッテ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ金ヲ支那ヘ貸シマシテ、三銀行ガ貸金トナッテ滞リテ居リマス、今日日本政府ノ方、テ肩替リヲシテ、此資源ヲ三銀行ニ調達シテヤラヌナラヌト云フ根本ノ理由ハ何カト申シマス、ソレハ理由ノ中ニハ重イモノモ輕イモノモアルノデアリマスガ、通ジテ先ヅ三點アルト思フノデアリマス、第一點ハ是等ノ銀行ノ現在ノ狀態ガ此借款ニ資源トナッテ唯今申上ゲマシタ多額ノ金ノ利息ヲ拂テ行クコトガ到底出來ナイ、其中ノ先ヅ要點ヲ舉ゲテ見マス、大正十七年カラ二十二年マデノ間ニ於キマシテ此利息ガ段々ツモツテ參リマス、其利息ノ總額ガ三銀行ノ拂込資本額ニ超過スルコト云フ形ニナッテ參ルノデアリマス、即チ破産ノ之ガ狀態ニ陥ル現況ニ於テアル、斯ウ云フコトニナリマス、若シカ、此三銀行ハ御承知ノ通り特殊銀行デアリマシテ、日本ノ内外ニ重大ナル此經濟界ニ關係ガアリマス、之ガ破産ヲスルコト云フコトニナリマス、ソレガ爲ニ財界ニ深甚ナル衝動ヲ與ヘルト云フコトハ勿論ノコトデアリマス、デ此財界ノ現狀ヲナニスルコトノ爲ニ此資源ヲ國ノ方デ供給シテヤルト云フコトガ第一ノ理由トナッテ居リマス、第二ノ理由ト致シマシテ此資源ガ大多數ノモノハ借入レタ金デアリマスガ、大多數ノモノハ興業銀行デアリマシテ、此金ヲ調達イタシマシタ、此調達イタシマス當時ニ議會ノ貴族兩院ノ協賛ヲ得マシテ政府ハ此保證イタシテ居ルノデアリマス、之ガ支拂ヲスルコトガ出來ヌ場

合ニ於テ、政府ニ於テ、國ニ於テ支拂ヲスルコト云フ保證ヲ致シテ居ルノデアリマス、デ今日此公債ヲ發行シテ之ヲ償却ヲシテ行ク、興業債券ナドヲ償却シテ行ク方法ナドヲ立ツルノハ保證其モノニ基ク譯デアリマセヌ、保證ハ興業銀行ノ支拂ガ出來ヌ時ニナッテスルコト云フコトニ法律關係ニナッテ居リマスカラ、ソレガ根據デアリマスケレドモ、唯今申上ゲマシタヤウナ風ニ大正十七年ヨリ二十二年マデニナリマスレバ、是等ノモノハ結局政府ニ於テ支拂セヌケレバナラヌ所ノ狀態ニアルノデアリマスカラ、其時ニナッテドウセ支拂スルモノナラバ、今日ニ於テ支拂フト云フコトガ、機宜ニ適シテ居ルノミナラズ、此場合斯ウ云フ不安ノ狀態ノモノヲ殘シテ置クト云フコトハ、日本財界、經濟界、財政界共ニ非常重大ナ惡影響ヲ與ヘルコトニナルノデアリマスカラ、此際之ヲ片付ケタイト云フノガ第二ノ理由、モウ一ツノ理由ハ之ヲ今日於テ高調シナイノデアリマスケレドモ、本當ノ意義理窟ハ第三點ニアルト思ヒマス、先ニ申上ゲマシタ如ク借款ハ此三銀行ガ自分自身ノ營業トシテ斯様ナコトヲシタノデナイコトハ勿論ノコトデアリマス、是ガ俗ニ所謂西原借款デアリマシテ、寺内内閣ノ當時西原龜三ト云フ人ガ斯ウ云フ計畫ヲ立テテ、ソレヲ時ノ政府ガ、時ノ政府ノ一種ノ政策トシテ、之ヲ遂行シヤウト云フ決意ヲセラレテ、サウシテ三銀行ヲシテ之ヲヤラシタノデアルト云フコトハ、皆天下公知ノ事實デアリマスガ、尙ホ斯ウ云フ記録ノ中ニモ覺書ト稱スルモノガアリマシテ、ソレニ

依リマスルト云フト、決シテ此金ノ爲ニ銀行ノ迷惑ハ掛ケナト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、所ガモウ現在銀行ニ斯ウ云フ迷惑ガ掛ケテ居ルノデアリマスカラ、

萬二千五百三十五圓ト云フノハドウ云フ關係デアリマスカ

テハ民間ノ例ヘバ信託ノ手數料ト云フモノハ、是モ實ハ色モノ種類ガアリマスガ、其中デ一番低イモノハ千分ノ五、大キナモノハ千分ノ七トカ十トカ二十五トカ或ハ五十

デアリマス、其少シ細カナ内容ヲ、其中デチヨット申上ゲテ置キマスガ、何故ニ日本銀行ノ最低割引歩合ヨリ二厘高ク買、タカト申シマスレバ、日本銀行カラ御承知ノ如ク、各銀行ニ貸附ケマスル所ノ金額ハ皆限度ヲ設ケマス、朝鮮銀行ニ幾ラ、臺灣銀行ニ幾ラト云フ風ニ大體ノ目安ヲ決メマシテ、ソレ迄ハ假リニ公債ヲ以テ參リマスルト、日本銀行ノ最低割引歩合デ融通スルケレドモ、其以上ノ金額ニナリマスルト、或ハ一厘、二厘ト云フヤウニ少シク利子ヲ上ゲマシテ、サウシテ其貸付ヲ制限スルト云フコトニナッテ居リマス、サウ云フ點カラシテハ朝鮮銀行、臺灣銀行ハ御承知ノ通り最近數年間ハ非常ニ營業上窮境ニ立ッテ居リマスカラシテ、日本銀行ニ提供スル詰リ借入金ノ利札モ其一流ノモノハ能ク持ッテ居ナカッタデアラウ、即チ公債モ十分ニハ持ッテ居ナカッタデアラウ、サウシマスルト、結局最低歩合以上ノ利子ヲ拂、タノデアラウト云フコトヨリシテ、先ヅ日本銀行ノ最低割引歩合ヨリ二厘高ト云フ利子ヲ以テ計算シテ參、タノデアリマス、以上申上ゲマシタヤウナ計算ノ方法ニ依リマシテ、此三銀行ノ調達シマスタル金ノ金利ト、ソレト借款ノ關係ノ經費ト、ソレト興業債券ノ利子ト、此三者ヲ合計シタモノガ四千萬二千五百三十五圓ニ相成ル譯デアリマス

此際政府ハ進シテ此整理ノ任ニ當ルト云フコトガ當然デアアル、斯ウ云フ決心ノ下ニ本案ヲ提出イタシタ次第デアリマス、如何ヤウナ法ニ依ッテ之ヲ整理スルカト云フコトニナリマス、此法律案ニ書イテアリマスル通り、差當リ大正十五年度ニ於キマシテハ總テノモノハヤレナイノデ、大正十五年度ニ於キマシテハ指定預金ノ形ニナッテ居ル政府カラノ立替金、サウシテ興業債券デ預金部ノ方ニ引受ケテ居、テ直グニ相談出來ルモノ、斯ウ云フ種類ノモノ、是ハ本案ノ第三條ニアリマスガ、此出來ル分ダケヲ十五年度ニ於テ公債ヲ募ル、サウシテ殘リモノノ對シマシテハ興業債券ノ期限ノ來タル度ビニ公債ヲ交付スル、期限ノ來ルマデノ間ニ於キマシテハ、興業債券ヲ發行シテ、利息ヲ拂ハナケレバナラヌカラ、利息ダケ銀行ノ方デヤルト云フ風ノ順序ニナリマス、總テノモノガ公債デ交付スルト云フコトニナルト、ドレダケニナリマスカト云フト、第六條ニアリマス通り一億四千三百萬圓ニナリマスガ、此一億四千三百萬圓ノ外ニ、尙丁度値合金ガ出テ參リマスカラ、ソレダケハ別ニナリマス次第デアリマスカラ、是ヨリズット金額ガ殖ヘテ參ル次第デアリマス、サウ致シマスルト、ソノ結果今後ニ於キマシテハ公債ガ償却セラレマスルマデ、國民ノ負擔トシテ年々公債ノ利子ニ相當スル金額ヲ支出シテ行ク、斯ウ云フ風ノ關係ニアルノデアリマス、是ガ本案ノ大要デアリマス、尙ホ詳細ノコトニ付キマシテハ、御質問ニ應ジマシテ申上ゲタイト思ヒマス

○政府委員(富田勇太郎君) 今御質問ニナリマシタル本案ノ第二條ノ第二號ノ借款ニ關シ、三銀行ノ負擔シタル金額四千萬二千五百三十五圓ノ内譯ハドウデアアルカト云フコトデアリマスガ、此金額ハ法文ニアリマスルヤウニ、三銀行ガ借款ノ前借及ビ借款ニ關シマシテ支拂ノ爲ニ立替ヘタル所ノ金額デアリマス、立替及借入レタル所ノ金額デアリマス、其内容ヲ申上ゲマスルト云フト、大正十二年度ニ預金部カラ融通シマシタ所ノ千三百萬圓、ソレ以前ハ自分デ以テ調達シタル資金ヨリナッテ居リマス、更ニソレヲ外ノ方面カラ申上ゲマスルト云フト、借款ノ資源タル興業債券ノ利子ト、ソレト借款ニ關係シタル三銀行ノ經費ト、ソレト今ノ利子ニ對スル利子ヲ借入レル場合ノ利子ト、略、三段ニ分レテ居ルノデアリマス、其計算ノ大要ヲ申上ゲマスルト、興業債券ノ利子ハ是ハ明白デアリマスケレドモ、三銀行ノ借款ノ爲ニ費シタル經費ヲドウ見ルカト云フコトハ、是ハ非常ニ困難ナ問題デアリマス、詳シク申シマスルト云フト、銀行ノ經費ハ一團トナッテ居リマシテ、其中ヨリ一ツノ取引ヲ引拔イテ、其取引ニ要シタル經費ヲ見ルト云フコトハ非常ニ困難デアリマスカラ、此計算ニ於キマシテハ大體ニ於テ債券ノ何歩位ノ經費ヲ要スルデアラウト云フ計算ヲ致シタノデアリマス、其歩合ハ支那ニ對シテ債券ノ千分ノ五ト云フモノヲ經費ト見タノデアリマス、是ハ銀行ニ依リマシテ經費ハ違ヒマスルシ、其經費ヲ彈キ出スコトハ困難デアリマスガ、大體ニ於テ銀行ノ經費ハ債券ノ千分ノ六、七、八ト云フ位ニナッテ居ルノデアリマスカラ、サウナッテ居リマスノト、一方ニ於キマシ

算ニ於キマシテハ、其最低ノ千分ノ五ヲ取、タノデアリマス、少クトモ千分ノ五ノ經費ハ要シテ居ルト見ルノ適當ト致シマシタノデ、千分ノ五ヲ取リマシタ、モウツ借款ノ資源タル興業債券ノ利子ヲ拂、爲ニ借金ヲシテ居ル、是ハ幾ラト見ルカ、是モ銀行トシテハ必ズシモドノ借金ヲ以テドノ支拂ニ當テタト云フコトハ、ハッキリ致シマセヌデ、此資金ノ調達ニ付キマシテモ、或ハ「コールマネー」ヲ吸收シ、或ハ預金ヲ預、テ居リ、或ハ債券ヲ發行シテ居ル、或ハ朝鮮銀行、臺灣銀行ノ場合ニモ、銀行券ヲ發行シテ居ル、サウ云フ各種ノ方法ニ依リマシテ金ヲ作、テ居リマスカラ、其下ノ分ガ興業債券ノ利子ヲ拂、爲ニ借入レタモノデアアルカト云フコトガ、非常ニ決定ガ困難デアリマス、ソレデ此計算ニ於キマシテ種々研究イタシマシタル結果、斯ウ云フ風ノ計算ノ方法ヲ採用シタノデアリマス、即チ興業銀行ニ付キマシテハ、興業銀行ノ資全ハ主トシテ興業債券ノ發行ニ依、テ居リマスカラ、此興業銀行ノ負擔シタル利子ト云フモノハ支那側カラ借款ノ利子ノ延滞シタル期間中、興業銀行ノ發行シタル興業債券ノ當該年ニ於ケル平均ノ利廻ヲ以テ興業銀行ノ負擔シタル資金經費ト見タ、朝鮮銀行臺灣銀行ニ於テハ、是ハ、興業銀行ハ、以上ノ各種ノ方法ニ依、テ金ヲ作、テ居ルカラ、計算ハ一層困難ニナリマスカラ、朝鮮銀行臺灣銀行ノ場合ニ於キマシテハ、當時ノ日本銀行ノ最低割引歩合ヨリ二厘高ノ經費ヲ以テ金ヲ作、タ、斯ウ云フ風ニ見タノ

○政府委員(富田勇太郎君) 此四千萬二千五百三十五圓ノ經費ノ中ニハ、此銀行ノ借款ノ關係ニ於テ負擔シマシタル經費ヲ含ン

依リマスルト云フト、決シテ此金ノ爲ニ銀行ノ迷惑ハ掛ケナト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、所ガモウ現在銀行ニ斯ウ云フ迷惑ガ掛ケテ居ルノデアリマスカラ、此際政府ハ進シテ此整理ノ任ニ當ルト云フコトガ當然デアアル、斯ウ云フ決心ノ下ニ本案ヲ提出イタシタ次第デアリマス、如何ヤウナ法ニ依ッテ之ヲ整理スルカト云フコトニナリマス、此法律案ニ書イテアリマスル通り、差當リ大正十五年度ニ於キマシテハ總テノモノハヤレナイノデ、大正十五年度ニ於キマシテハ指定預金ノ形ニナッテ居ル政府カラノ立替金、サウシテ興業債券デ預金部ノ方ニ引受ケテ居、テ直グニ相談

萬二千五百三十五圓ト云フノハドウ云フ關係デアリマスカ

テハ民間ノ例ヘバ信託ノ手數料ト云フモノハ、是モ實ハ色モノ種類ガアリマスガ、其中デ一番低イモノハ千分ノ五、大キナモノハ千分ノ七トカ十トカ二十五トカ或ハ五十

デアリマス、其少シ細カナ内容ヲ、其中デチヨット申上ゲテ置キマスガ、何故ニ日本銀行ノ最低割引歩合ヨリ二厘高ク買、タカト申シマスレバ、日本銀行カラ御承知ノ如ク、各銀行ニ貸附ケマスル所ノ金額ハ皆限度ヲ設ケマス、朝鮮銀行ニ幾ラ、臺灣銀行ニ幾ラト云フ風ニ大體ノ目安ヲ決メマシテ、ソレ迄ハ假リニ公債ヲ以テ參リマスルト、日本銀行ノ最低割引歩合デ融通スルケレドモ、其以上ノ金額ニナリマスルト、或ハ一厘、二厘ト云フヤウニ少シク利子ヲ上ゲマシテ、サウシテ其貸付ヲ制限スルト云フコトニナッテ居リマス、サウ云フ點カラシテハ朝鮮銀行、臺灣銀行ハ御承知ノ通り最近數年間ハ非常ニ營業上窮境ニ立ッテ居リマスカラシテ、日本銀行ニ提供スル詰リ借入金ノ利札モ其一流ノモノハ能ク持ッテ居ナカッタデアラウ、即チ公債モ十分ニハ持ッテ居ナカッタデアラウ、サウシマスルト、結局最低歩合以上ノ利子ヲ拂、タノデアラウト云フコトヨリシテ、先ヅ日本銀行ノ最低割引歩合ヨリ二厘高ト云フ利子ヲ以テ計算シテ參、タノデアリマス、以上申上ゲマシタヤウナ計算ノ方法ニ依リマシテ、此三銀行ノ調達シマスタル金ノ金利ト、ソレト借款ノ關係ノ經費ト、ソレト興業債券ノ利子ト、此三者ヲ合計シタモノガ四千萬二千五百三十五圓ニ相成ル譯デアリマス

デ居リマス、其經費ヲ如何ニ見ルカト云フコトニ付キマシテ、此支那ニ對スル債券ノ千分ノ五ト云フモノヲ經費トシテ計上シタルアリマス、何故ニ千分ノ五ト云フ割合ヲ採用シタル申シマスルト、是ハ中央ニ於キマシテモ三銀行經費ノ割合ヲ見タルデアリマス、詰リ銀行ノ一般ノ債券ニ對スル經費ノ割合ヲ勘定シマスルト、最も低イ場合ニ於テ千分ノ五、大キイ場合ニ於テハ或ハ七、或ハ八モ、モット以上ニナリテ居ル場合モアリマス、其方面カラ見マスレバ、債券ニ對スル千分ノ五ト云フモノハ、最も内輪ニ見タル計算ト相成ルノデアリマス、又他方ニ於キマシテ、一般ニ民間ノ信託、各種ノ信託會社ニ於キマシテ、所謂例ハ元利取立手数料デアルトカ、其他ノ手数料トカ、諸種ノ手数料ガアリマスルガ、其割合ハ一番低イノデ千分ノ五、高イノハ或ハ五十、或ハ六十、モット百位ノモアッタヤウニ考ヘテ居リマス、デ大體ニ於キマシテ、此借款ト云フコトハ政府ノ仕事デアル、ソレヲ銀行ニヤラシタト云フ觀察ヲスルコトガ至當ト存ジマシテ、從テ政府ハ銀行ニ對シテ借款ノ爲ニ使用シタル經費ヲ出シタルト云フコトガ至當デアル、然ラバ其經費ヲドウ見ルカト云ヘバ、丁度政府ハ此借款ノ行爲ヲ信託シタル關係ニナリテ居リマスルカラシテ、民間ニ於ケル信託手数料ノ中デ最も低イモノヲ取リマシテ千分ノ五、斯ウ云フ風ニ見タルデアリマス、如何ナル方面カラ見マシテモ、千分ノ五以下デ其經費ヲ出スト云フコトハ少シ酷デアラウ、斯ウ云フノデ千分ノ五ヲ以テ適當ナリトシテ計上シタルデアリマス

ニアルヤウデアリマスガ、其差ト云フモノハ矢張り興業銀行ガ儲ケテ居ル次第ヤナイカト思フ、其儲ケタ信託手数料ト云フモノヲ遺ルト云フコトハ何ダカ少シ遣リ過ギルヤウナ氣モ致シマス、一體銀行ガ手数料ト云フモノヲ取ル時ニハ、是ハ自分ノ負擔スル危險ニ對シテ銀行ガ或ル手数料ヲ取ルト云フコトハ、相當デアラウト思ヒマスガ、斯ウ云フ工合ニ政府カラ少シモ損ヲシナイヤウニ總テ銀行ノ拂ツタモノハ之ヲ銀行ニ拂渡シタル、サウシテ利息モ儲ケル、其上面實費以上ニ信託手数料ト云フモノヲ想像シテ銀行ヘ拂渡スト云フノハ普通ノ場合ナレバサウ云フコトモ銀行ノ商賣トシテ信託手数料ト云フモノヲ千分ノ五取ラウカ、七取ラウカ、ソレハ當リ前デアラウガ、救済シタルト云フヤウナ特別ノ場合ニ信託手数料ヲ計算シテ渡スト云フコトハ何ダカ救済以上ニ恩惠ヲ施シタルヤウナ一寸感ジガ致ス、殊ニ一億圓ノ千分ノ五ト云フト二百五十萬圓ニナル、ソナンニ經費ガ掛ツタトハドウモ思ヘヌ、私ノ手許ニ或ル人ガ寄越シタル書類ガアリマスガ、ソレハ本統カ喰カ分リマセヌガ、ソレニ依レバ何カ隠レタ所ニ非常ニ金デモ使ツテ居リハセヌカト想像サレル節モアリマスガ、ドウモ救済ト云フ場合ニ利息ノ上ニ信託手数料ヲ渡シタルト云フコトハ少シ遣リ過ギルヤウニ思ヒマスガ、ソレハドウ云フコトデアリマセウカ

○政府委員(武内作平君) 渡邊子爵ノ御尋ハ至極御尤モノ點デアリマスガ、是ハ唯今政府委員カラ御説明申上ダタノデアリマスケレドモ、前段ヲ申上ダナカッタカラ唯今御質問ノヤウナ風ニナリテ參ツタモノト思ヒマス、左様ナ三銀行ガ特別ニ使ツテ居ル經費ガアツテ、ソレヲ認メタト云フヤウナ事實ハアリマセヌ、何カ左様ナ特殊ノ金ヲ使ツテ居ルカモ知レマセヌケレドモ、ソレハ全然銀行ノ負擔スベキモノデアツテ、今回ノ政府ノ今回ノ金額ノ中ニハ這入ッテ居ナイ、ソレカラ斯ウ云フ風ニ勘定ヲ致シマス、此支那ノ方カラ取ル計算ノ方法デアリマスガ、支那ノ方ノ借款ノ利息ハ只今子爵ガ御話ニナリマシタ通り、興業債券ノ利息ヨリモ餘程利息ノ歩合ガ宜シイノデアリマス、ソレデ、ソレナラバ此取ルベキ利息ガ取レナイデ所謂利拂借款ニナリテ居リマス、マダ利拂借款ニモナリテ居ナイ、唯滞リノ利息ニナリテ居ル部分ガ是アルト云フコトヲ申上ダマシタガ、ソレヲ全部ヤルナラバ、此今ノヤウナ費用ナドモ一文モヤラナイ、所ガ政府ニ於キマシテハ、子爵ガ御氣ノ付カレテ居ルヤウナ風ニ其利息ヲ勘定シテ、其金額ヲヤルト銀行ヘ儲ケサセルコトニナル、興業債券ノ利息ト支那ノ借款トノ利鞘ダケヲ銀行ガ儲ケル、今日ノヤウナ場合デアリマスカラ、國民ガ重大ナル負擔ヲシテ之ヲ整理シテヤラウト云フ場合ニ、銀行ヘ儲ケサセル理窟ハナイ、ソレハ國民ニ對シテモ、又兩院ノ御協賛ヲ仰グ上ニ於テモ甚ダ當ヲ得ナイト云フノデ政府ノ方針ト致シマシテハ、此支那カラ取ル利息其モノヲナニニヤツテ居ナイ、取レルダケノ利息ヲヤツテ居ナイノデアリマス、利拂借款ハ理窟ハ唯今申上ダタ程ノ金額ニ上リテ參ルノデアリマスルケレドモ、ソレダケハヤツテナクシテ、實際此資源ヲ調達スル爲ニ興業債券ヲ發行シテ、其拂ツタ利息、拂ツタ利息ダケヲ見テヤル、ケレドモ拂ツタ利息ダケハ此銀行ガ實際使ツテ居ル費用ガアルノダカラ、其費用ハ、割リ出シテ其費用ダケ見テヤル、

斯ウ云フコトニナリマシタ、其結果ト致シマシテ、唯今政府委員ガ申上ダマシタヤウナ風ニ、實際ノ經費ヲ、切リ詰メタ實際ノ經費ヲ加算イタシマシテ、出來上リタル金額ガ唯今御尋ネニナリマシタ四千二百二十五百三十五圓ト云フコトニナリマス、之ヲ若シモ支那カラ取レル金額ノ總高ト云フコトニナリマス、是ヨリモウント上リテ參リマス、ソレデ其經費ナドニ何モヤラナイデ、當然此借款カラ這入ッテ來ル利息ダケデ、滞リ居ルモノヲ向フニヤルト云フコトト、ソレヲヤラナイデ、實費計算ヲスルト云フコトト、ドウ云フ差額ニナルカト云フト、百何十萬圓ト云フモノ、百十四萬圓ダケ差額ガ出テ參ルノデアリマス、デアリマスルカラシテ、此實際今後ニ於テ是ガ支那カラ取レルモノト致シマスルナラバ、當然取レルモノノ中カラ百十四萬圓ヲ引イタモノヲ、今度コツカラ整理金トシテ支出シタル、斯ウ云フ勘定ニナルノデアリマシテ、勘定ガ誠ニヤコシイノデアリマスガ、大本トシテハ子爵ガ御心配ニナリマシタヤウナ點ニ付キマシテモ、政府モ重大ナル注意ヲ拂ヒマシテ、二重ニヤラスノミナラズ、向ウカラ取レルモノト見ラレルダケノ利息モヤラナイコトニシテ計算ヲ致シマシタ、左様御承知ヲ願ヒマス

○子爵渡邊千冬君 利拂借款ハ全クソレデハ取レナイモノトシテ計算ヲシタルノデアリマスナ

○政府委員(武内作平君) 取レナイモノト云フノデアリマス、今政府ノ方針ト致シマシテハアチカラ取ルノデアリマスカラ、取レルモノトシテ、若クハ少クトモ取レルモノ、成ル可ク取ラウト云フ方針デ計畫ハ致シテ居ルノデアリマスケレドモ、現在ハ取レナイノデアリマスカラ、取レナイノ

ヲ……利息、其利息ノ中ニハ斯ウ云フ風ニナシテ居リマス、御承知ノ通り利拂借款ノ方ノ利率ハ、八分、七分五厘、七分三厘五毛ナドト云フ利息ニナシテ居ル、借款ノ利息ハサウ云フ風ニ大體ナシテ居ル、ソレデアリマスカラ此金ガ……興業債券ハ六分デアリマスカラ、此支那ノ方ノ借款ガ全部這入タモノト、斯ウ致シマス、ソコヘ二分五厘程ノ……三分、二分五厘程ノ、或ハ七分トスルト五分、マア免ニ角ソレダケノ利轄ハ銀行ヘ這入テ來ル、ソレヲ儲ケサセルト云フコトハ此際ドウモ甚ダ穩當デナイノデ、ソレハモウヤライ、實費計算トシテ之ヲ勘定シテ、ソレダケヲ渡スモノトシテ百十四萬圓ダケ少クスルト云フ譯ニナリマス

○子爵渡邊千冬君 外務省ノ政府委員ニ御尋ネシマスガ、支那トノ間ニ色々ノ借款ノ契約ガアルヤウデアリマスガ、又ソレト擔保モアルヤウニ聞イテ居リマスガ、其契約ノ實行サレタモノガアリマスガ、ナケレバ、ドウ云フ譯デアリマスナカ、又今後契約ヲ實行セシムル爲ニ政府ハ努力サレル御考デアリマスガ、又努力サレ、ハ實行サレル御見込デアリマスガ、之ヲ一ツナシニ一ツ御話ヲ願イタイト思ヒマス

○政府委員(男爵矢吹省三君) 唯今渡邊子爵ノ御質問ニ御答ヘ致シマス、實ハ西原借款ノ擔保トナシテ居リマスルモノハ餘リナイノデアリマス、僅ニ有形的ノ擔保トシテ認ムベキモノハ有線電信借款ノ點ノミデアリマス、其他ハ是カラ事業ヲ始めテ初メテ擔保タルベキモノガ生ズルト云フ譯デアリマス、事業ガ始メラレナイ間ハ、擔保トシテ認ムベキモノハナイノデアリマス、有線電信借款ハ貸シマシタ當時カラ有形的ノ擔保トシテハ引取テ居リマス、而シテ貸シ

タ金ニ依テ其物ガ出來上、タ揚句ニ擔保ニ供セラレト云フ譯デアリマスカラ、西原借款ハ唯今皆サン御承知ニナシテ居ル内容ヲ成シテ居ル貸付タ金ハ、其事業ヲ一向始メルコトニハナラナカッタノデアリマシテ、續イテ其後金ヲ注イタシマシタナラバ、或ハ中ニハ其事業ガ幾ラカ有形的ニナッテ來ルモノガアルカモ知レマセヌ、免ニ角西原借款トシテ貸付タモノ以後ニ於テハ、其同様ノモノニ更ニ其上ニ貸付ケルト云フコトハ、政府ノ方針トシテ致サナカタモノデアリマスカラ、唯其仕事ガ出來上、タ後ニハ擔保ニ供スルト云フ程度ノコトデ、此西原借款ト云フモノハ當時ニハアッタノデアリマス、之ヲ一口ニ申シマスレバ西原借款ハ擔保ト認ムベキモノハ有線電信借款ノミト云フコトニ申上ゲテ宜カラウト思ヒマス、而シテ其ノ他モノハ擔保ガナイカト申シマス、擔保タルベキモノハ……タリ得ルモノハ將來其事業ガ完成シタ後ニアルノデアリマシテ、完成シナイ前ハ擔保ニ供スルモノハナイノデアリマス、而シテ其實シマシタ事業ニ此上金ヲ入レマシテ物ニスルト云フコトノ見込ハ、唯今ニ於テモ餘リナイノデアリマス、鐵道ノ……

ヲヨト具體的ニ申シマス、云フト有線電信借款ガ唯今申シマシタヤウニ、支那ノ電信ガ擔保ニナシテ居リマス、是ハ御承知ノヤウナ狀態デ支那ハアリマスデスカラ、一向電信事業ノ如キモ儲カリマセヌ、ソレ故ニ擔保ハ存シテ居リマスケレドモ、其擔保ニ依テ債權ガ確保サレルト云フ狀態ニナイノデアリマシテ、年々收支相償ハヌデ損ヲ重ネテ居ル狀態デス、而シテ其次ノ借款ハ吉會鐵道借款、是ハ鐵道ガ出來タ後ニハ擔保トシテ十分提供サレベキモノデアル、其鐵道ニ對スル前貸デアリマス、此金ハ一向鐵道

ノ建設ニモ掛ラズ敷地ノ買収ニモ掛ラズ、斯ウ云フ形跡ハ殘テ居リマセヌ、前貸トシテ貸シタモノニ依テ擔保ト云フモノハ有形的ニ出來ナカッタノデアリマス、ソレカラ其他吉林……黑龍吉林……黑吉林鎮借款、是ハ矢張り支那ノ方デ此事業ニ對シテノ事務所トカ即チ其事業ガ著サレタ曉ニ於テハ日本カヲ入レルト云フヤウナコトニナッテ居リマシテ、現在貸シマシタ金ニ依テハ、一向其事業ガ始マッタノデナイノデアリマス、從テ是又擔保ナキニ等シイ狀態デアルノデアリマス、ソレカラ滿蒙四鐵道借款、是ハ鐵道敷設ノ權利ヲ前提トシタモノデアリマスガ、是又其金ヲ入レナケレバ此鐵道ハ出來上ラナイノデアリマシテ有形的ニ今日擔保トシテ認ムベキモノデナイ、且ツ此中ノ二鐵道ハ既ニ四國借款團ノ方ニ提供サレテ居ル、大正九年ニ提供サレテ居リマス、左様ナ狀態ト擔保トシテ唯今十分直チニ償值ノアルベキモノト認ムベキモノデナイ、山東二鐵道借款ハ是ハ矢張り四國借款ニ提供サレテ居ルノデアリマシテ、此貸シマシタ金ニ對シテノ擔保トシテ、唯今債權ヲ確保スルト云フコトニ參ッテ居リマセヌ、左様ノヤウナ譯デゴザイマシテ、是カラ西原借款ノ債權ヲ確保スル爲ニ此擔保トシテ供セラレタモノヲ出來ル限リ有形ニシタイト云フ爲ニハ、更ニ金ヲ貸サナケレバ出來ナイト云フコトガ先ヅ第一ニ感ジラレルノデアリマス、而シテ金ヲ入レテ見テ果シテドウデアアルカト云フコトガ、大ナル危險ヲソコニ感ズルノデアリマス、先ヅ唯今ノ所デハ之ニ金ヲ注ギ込デ此擔保物ヲ活カシテソレニ依テ借款ノ返済ヲ期待スルコトヨリハ、寧ろ唯今繼續中ノ關稅會議ニ於テ是等ノ借款ヲ整理スルノ案ヲ立ツル方ガ確實デアリ可能性ガ多イト云フコト

デ、寧ろ其方ニ依テ整理スルコトヲ當局トシテ考ヘテ居ルノデアリマス、御質疑ノ點ハ他ニモアツタヤウニ思ヒマスガ、尙ホ唯今申上ゲタコトノ外ニゴザイマシタラ、重ネテ御質問ヲ願ヒマス

○子爵渡邊千冬君 今ノ借款前貸シノ滿蒙四鐵道ノ中、四國借款團ニ渡ス、山東鐵道モ四國借款團ニ渡スト云フ御話デスガ、斯ウ云フ前貸シマデシテ居ルノヲ、ドウ云フ條件デ四國借款團ノ方ニ渡スコトニナリマシタカ、其經緯ヲ水リタイ、ソレカラ有線電信ニハ私ノ此誰カラカ貴ヒマシタ書類デハ陸上電線、約三萬四千哩、海底電線約一千哩ト云フモノガ擔保ニ入ッテ居ルンデヤナイカト思ヒマス、是等ガ期限ガ來テ居ルノデヤナイカト思ヒマスガ、是等ノ財產ニ付テハ差押ヘルト云フヤウナ御考ハナイノデアリマスガ、今ノ御話ニ依レバ、收入ハナイカモ知レマセヌガ擔保ニナッテ居ル以上、差押ヘテ日本ガ經營スルト云フコトモ一ツノ方法デヤナイカ知ラヌト思ヒマス、ソレカラ黑吉金鎮森林借款、是モ私ノ所ニアリマス書類ニ依リマス、此兩省ニアル金鎮森林ト云フモノガ擔保ニナッテ居ルヤウデスガ、是ハ確力期限ガ大正十七年ト云フノデスカラ、今ハ直チニ差押ヘルコトガ出來ナイカモ知レマセヌガ、其期限ガ到著スレバ之ヲ差押ヘテ日本デ經營ヲスルトカ何トカ方法ヲ考ヘテ此借款ノ償還ニ當テルト云フヤウナ御考ハナイノデアリマスガ、更ニ此點ヲモウ一應水リタイト思ヒマス

○政府委員(武内作平君) 御質問ハ至極御尤モデアリマスガ、是ハ色々ノ事情ガアリマシテ、先ヅ第一ニ申上ゲマス、第一ニ既ニ原內閣ノ當時ニ於キマシテモ、此借款ガ支那ノ一部ニ於キマシテ、種々ノ問題ヲ

惹起シマシテ、サウシテ此狀勢ガ此マ、遂行スルト云フコトハデス、總テノ事情、關係ヲ綜合シテ不利益アルト云フコトデ強ヒテ之ヲ此通り、契約ニアル通りノコトハヤラナイヤウナ方針ニ大體變更ヲサレタノデアリマス、ソレカラモウ一ツ内容ニ立入ッテ申シマスルト、唯今ノ有線電信借款デアリマスガ、是ノ如キモ茲ニ二千萬圓デアリマシテ、無論日本トシテハ二千萬圓ヲ電信建設ノ爲ニ交付シタノデアリマスケレドモ、支那側ノ方カラ申シマスルト云フト、此中ノ金ガ交通部ヘ入ッテ居ル金ハ僅ニ五百万圓、其他ハ交通部以外ノ所ヘ入ッテ、詰リ大藏省ノ方ヘ大藏省ト云ヒマスカ……財政部ノ方ニ此金ガ入ッテ居ルト云フヤウナ風ニナッテ居ルノデアリマス、サウシテ五百万圓デドウ云フモノガ出来タカト云フト、何ニモ出来テ居リマセヌ、其後ニ海底電線ガ一線出来マシタケレドモ、是モ矢張り日本側ノ他ノ關係カラ金ヲ借入レテ、出来タヤウナ風ニ實際ノ實情ガナッテ居ルノデアリマスカラ、契約ノ正面カラ行キマストドシ……差押ヘデモ何デモ出来ル關係ニナッテ居リマスケレドモ、餘程是ハ考慮スル必要ガチヨットアルノデアリマス、ソレカラ吉會鐵道デヤナク、黑吉林鐵借款ノ如キモノモ今日ニ於キマシテハ、露西亞モ現在ノヤウナ狀態ニ變テ參リマシタノデ、其點ハ強ヒテ考慮スルコトモナイヤウニハナッテ居リマスケレドモ、是ニモ矢張り外交上種々ノ入組ンダ事情ガ存在ヲ致シテ居ッタノデアリマス、ソレデ之ヲ無理ニ其通りヤルト云フコトノ問題ニナッテ參リマスルト、露西亞ナドノ關係ニ於キマシテハ、露西亞ハ前ノ政府ハ瓦解ヲシテ居ルノデアリマスカラ、法律問題トカ、國際公法上ノ問題トシテハ問題ハナイノデアリマスケレドモ、種々

入組ンダ事情ガ出来テ參リマスノデアリマス、ソレカラ又モウ一ツノ四鐵道デアリマスガ、之ヲ國際關係ノ方ヘ提供シタコトニ付テノ御尋ネナノデアリマス、是ハ只出シテ宜イト云フコトニナッテ居ルノデアリマシテ、現在ノ所デマダ各國ノ間ニ於テ之ヲ利用シテ、ソレヲ敷設スルトカ、各國デヤルトカ云フコトニ確定シタ譯デハナイノデアリマス、デ若シカ各國間ニ於キマシテ、之ヲ共同シテ何カスルト云フコトニナリマスレバ、此出テ居リマスル金ハ歸ッテ来ルガ、何等カノ條件ガ出来ルカト云フコトニナルノハ勿論デアリマスケレドモ、現在ノ所デハ、唯サウシテモ宜イト云フ聲明ヲシタニ止マッテ居リマス次第デアリマス

○子爵渡邊千冬君 改メテ御尋ネシタイノデスガ、黑吉林鐵借款……森林金鐵借款、是ト露西亞トノ關係ガアッテ、此實行ヲスルコトガムツカシイト云フ御話シガアリマシタノデスガ、露西亞カラドウ云フ故障ガ參リマシタカ、之ヲ若シ、必要ナラバ速記ヲ止メテナリ何ナリ承リタイト思フノデアリマス、ソレカラ擔保ノ關係ハ略、支那内地ノ狀勢カラ考ヘテ見マシテ、餘程推察イタス點ガアルノデアリマスガ、此借款、日本ガ斯ウ云フ債權ヲ持ッテ居ルト云フコトハ、支那及世界ノ各國モ之ヲ正當ナル借款トシテ認メテ居ルノデスカ、ドウデスカ、今支那ニ開カレテ居ル關稅會議、其他ニ於テ問題ニナリマシタコトガアリマシタカドウデスカ、其模様ヲ承リタイ

○政府委員(武内作平君) 此借款ハ……是等ノ借款ニ對シマシテ、現在ニ於キマシテ支那政府ガ無論是ハ借受ケタモノデアルト云フコトニ認メテ居リマス、デ又日本ト致シマシテモ、正當ナ借款デアッテ、今回ノ關稅會議ニ於テ、是ガ整理ノ方法ヲ取ルニ

シテモ、是等ノ借款ニ支那ノ一部ニ於テ議論ガアリマスル通り、是ハ差別待遇ヲスルト云フヤウナコトニ付キマシテハ、同意スルコトハ致サナイコトニナッテ居リマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) 速記ヲ止メテ

午前十一時十五分速記中止

午前十一時五十九分速記開始

○委員長(伯爵堀田正恒君) 速記ヲ始メテ……デハ是デ今日ハ中止イタシマス、散會イタシマス

午後零時一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵堀田 正恒君
副委員長 淺田 德則君
委員

子爵渡邊 千冬君
子爵舟橋 清賢君
男爵千秋 季隆君
尾崎 元次郎君
若尾謹之助君

政府委員

大藏政務次官 武内 作平君
外務政務次官 男爵矢吹 省三君
大藏省理財局長 富田勇太郎君

大正十五年三月八日印刷

大正十五年三月九日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局